

第3章 鳥羽市の観光の目指す姿

1. 目標像

鳥羽市は大小様々な島々やリアス海岸、伊勢湾や三河湾といった内海と熊野灘や遠州灘といった外洋が交じり合う豊饒(ほうじょう)の海に囲まれ、海と密接にかかわる市民の暮らし、生業が育まれてきました。この鳥羽特有の海は、観光の面でも食、自然、歴史文化など魅力的でかけがえのない観光資源をもたらしています。第2次観光基本計画においては、独特で特徴ある海そのものと、海を通じて生まれた歴史や生活文化、漁業文化の総体として「鳥羽うみ文化」と表現し、「鳥羽うみ文化」の継承と創造のため、様々な取り組みを推進してきました。

人口減少社会を迎えるなか、持続可能な鳥羽市のまちづくりに観光が果たす役割は大きく、鳥羽らしさの核である「鳥羽うみ」の恵みを、経済面、環境面、生活面等において循環させていくと共に、それを来訪者と共に享受する観光まちづくりを進めることで、唯一無二の海洋文化都市を実現していきます。

鳥羽観光の目指すべき目標像

「鳥羽うみ」と共に生きる観光まちづくり
～ *The Blessed Sea* ～

2. 目標像を実現するための基本方針

基本方針

「鳥羽うみ」と共に生きる観光まちづくり～ The Blessed Sea ～
「鳥羽うみ」の恵みをエリア、時間、分野を超えて
循環させることで、誰もが幸せになる

観光客がめぐる

- ◆ 鳥羽駅を拠点に離島や南鳥羽へのアクセス向上により**市内回遊**の促進
- ◆ 伊勢志摩**広域**をめぐる**宿泊拠点**としての魅力のさらなる向上

関係人口がめぐる

- ◆ 鳥羽に愛着を持ち、**多様な目的**で訪れる**関係人口**の増加
- ◆ 何度も鳥羽を訪れる**リピーター**や**長期滞在者**の増加

食、生業がめぐる

- ◆ 鳥羽で生産された**素材や食材**を**域内で消費**する
- ◆ 鳥羽の魅力の根源である**第一次産業**の担い手が育つ
- ◆ 鳥羽うみと共に培われた**文化の継承**

経済がめぐる

- ◆ **経済効果を外に逃さず市内**で享受
- ◆ 施設整備、観光振興のための**投資サイクル**がまわる
- ◆ 地域や観光客、事業者、市民等への**宿泊税の活用・還元**

従事者がめぐる

- ◆ **働く、住む、子を育てるサイクル**の創出
- ◆ **新規就業希望者が常にいる状況**の創出

市民がめぐる

- ◆ 子供の頃から鳥羽を知る教育により、**地域への思い**を育てる
- ◆ 市民の**雇用機会**(Uターンを望む人を含む)の創出

環境がめぐる

- ◆ **資源の保護、育成と循環**による環境配慮、意識向上

2. 目標像を実現するための基本方針

● 目標像実現のイメージ

多くの観光客が鳥羽に求めているのは、美味しい海産物、美しい海の景観、そして海女文化といった、まさに「鳥羽うみ」の魅力です。

まず大前提となるのは、大切な「鳥羽うみ」を未来へ引き継ぐための環境保全です。

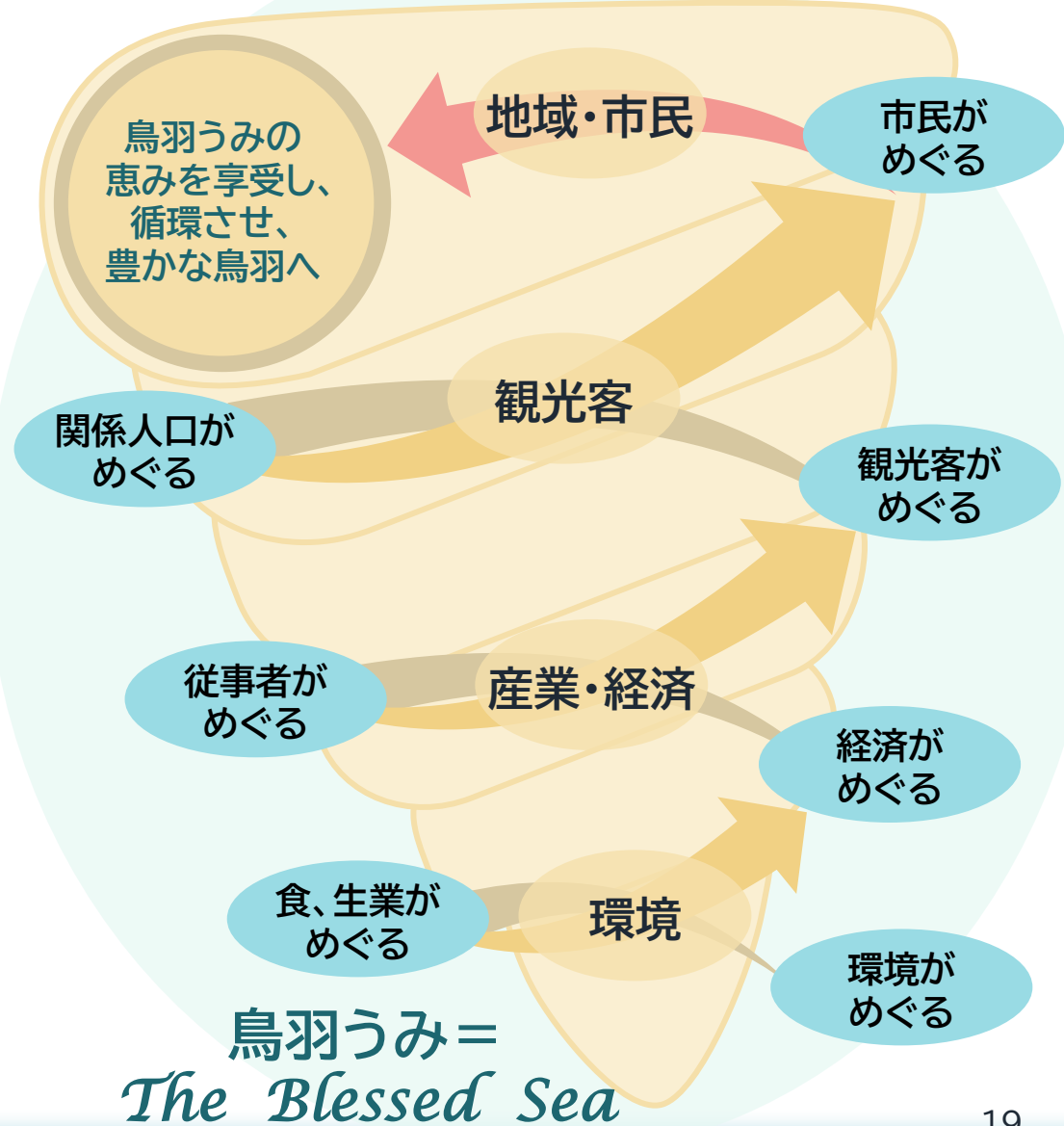
その上で、地域経済の好循環を生み出すことが重要です。地元産の食材を地域で消費し、水産業をはじめとする第一次産業を支え、育てる。こうした取り組みが経済全体を潤します。

さらに、観光産業の担い手が働きやすい環境づくりによって、働く、住む、育てるサイクルにつながり、従事者の満足度が高まり、サービスの質が高まります。

こうして高まった鳥羽の魅力を、訪れた方々が存分に味わい、市内を「回遊」できる仕組みを整えれば、リピーターや「鳥羽ファン」が増えていきます。やがてそれは、多様な形で地域と関わる「関係人口」の増加につながり、中には鳥羽に移住し、新たな市民となる人も現れるでしょう。

このように「経済」「暮らし」「人の縁」の循環を育んでいくことこそが、私たちが目指す「鳥羽うみと共に生きる観光まちづくり」といえます。

「鳥羽うみ」と共に生きる観光まちづくり



3. 計画の目標値

目標像

「鳥羽うみ」と共に生きる観光まちづくり ～ The Blessed Sea ～

基本方針

「鳥羽うみ」の恵みをエリア、時間、分野を超えて循環させることで、誰もが幸せになる

● 目標値設定の考え方

目標像実現に向けた達成度を測るため、成果指標を設定し、数値目標を定めます。

検討にあたっては、目標像の実現に寄与しているかという考えに基づき、計画全体ならびに前項の目標像実現のイメージでとりあげた4つの要素ごとに、それぞれ以下の通り指標を設定します。

	指標設定の考え方	指標
全体	<ul style="list-style-type: none"> 観光が鳥羽の経済を豊かにしていること 	<ul style="list-style-type: none"> 経済波及効果(域内調達率)
地域・市民	<ul style="list-style-type: none"> 市民が観光の効果を実感できていること 	<ul style="list-style-type: none"> 観光に対する関心度 鳥羽市にとっての観光の重要度
	<ul style="list-style-type: none"> 市民が観光客におもてなしの心を持って接していること 	<ul style="list-style-type: none"> 観光に対する推奨度
	<ul style="list-style-type: none"> 市民が鳥羽に長く住み続けたいと感じていること 	<ul style="list-style-type: none"> 定住意向
観光客	<ul style="list-style-type: none"> 観光客が鳥羽での滞在を満足していること 	<ul style="list-style-type: none"> 来訪者満足度 再来訪率(リピート率) 観光に対する推奨度
	<ul style="list-style-type: none"> 観光客が地域で消費していること 	<ul style="list-style-type: none"> 観光消費額
産業・経済	<ul style="list-style-type: none"> 観光産業が働きやすい環境であること 	<ul style="list-style-type: none"> 従業員満足度 外国人労働者定着率
環境	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全につながっていること 	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガスの排出量

3. 計画の目標値

● 目標値

指標		現状値	目標値	備考
全体	経済波及効果 (域内調達率) 鳥羽市観光経済波及効果調査	891億円 (H29年度)	1,250億円 (R12年度)	R9～11(2～4年目)、 R16(9年目)に実施予定
地域・市民	観光に対する関心度 鳥羽市民アンケート(新規)	—	初回調査実施後に設定	「非常に関心がある」、 「関心がある」の割合
	観光に対する推奨度 鳥羽市民アンケート(新規)	—	初回調査実施後に設定	
	観光の重要度 鳥羽市民アンケート	14.5% (R6年度)	25% (R12年度)	
	定住意向 鳥羽市民アンケート	70.2% (R6年度)	80% (R12年度)	
観光客	来訪者満足度 鳥羽市観光案内所アンケート(新規)	—	初回調査実施後に設定	「非常に満足」、 「満足」の割合
	再来訪率(リピート率) 鳥羽市観光案内所アンケート(新規)	—	初回調査実施後に設定	「2回以上」の割合
	観光に対する推奨度 鳥羽市観光案内所アンケート(新規)	—	初回調査実施後に設定	
	観光消費額 鳥羽市観光統計調査	82,721,334千円 (R6年)	107,500,000千円 (R12年)	
産業・経済	従業員満足度 市内事業所アンケート(新規)	—	初回調査実施後に設定	
	外国人労働者定着率 市内事業所アンケート(新規)	—	初回調査実施後に設定	
環境	温室効果ガスの削減 鳥羽市ゼロカーボンシティ推進計画	153千t-CO ₂ (R2年度)	144千t-Co2 (R12年度)	

3. 計画の目標値

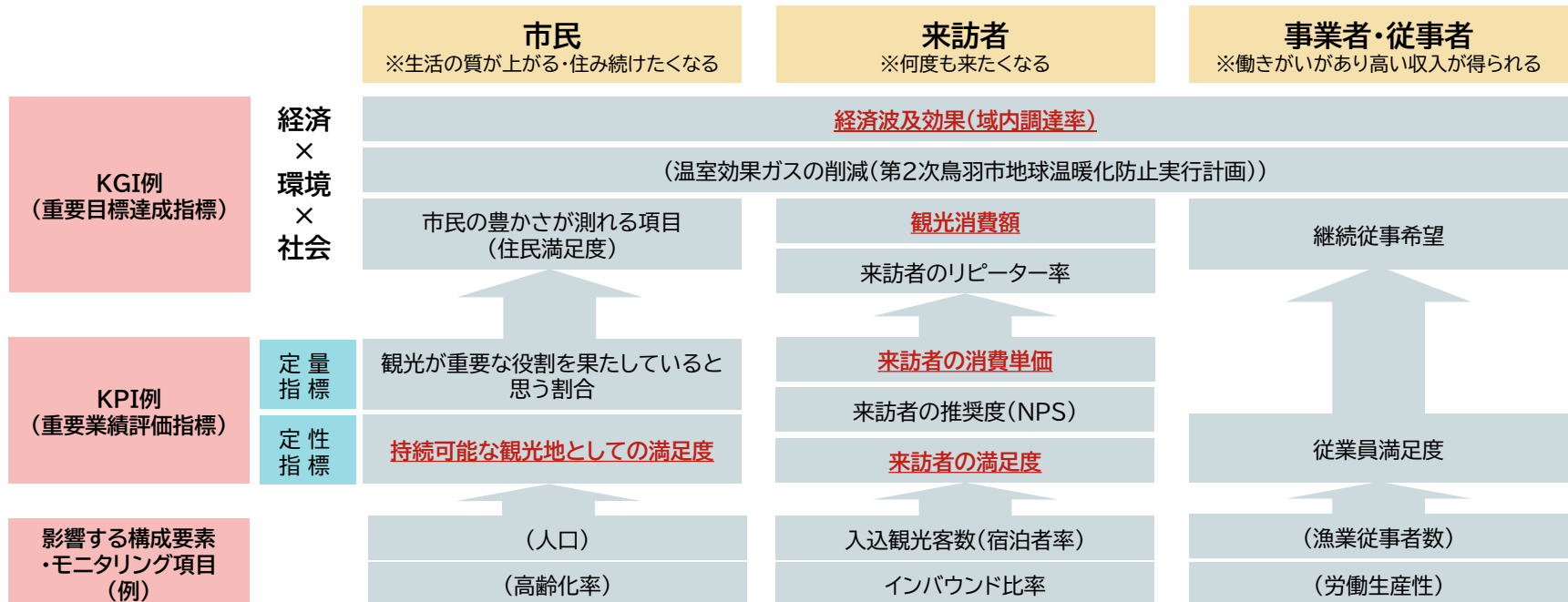
● 参考

指標設定の考え方

- ✓ SMART原則: Specific(具体的)、Measurable(測定可能)、Achievable(達成可能)、Relevant(関連性高く)、Time-bound(期限を設けて)に設定することが重要。
- ✓ できるだけ客観的に把握できること(回答者の心がけ等ではなく、実際にやっているかやっていないかで判断できるもの)
- ✓ 定期的&継続的に無理なく把握できること(莫大な費用や労力をかけなくても把握できること)

ポイント

- ✓ 国として把握することが推奨されている項目(赤字:「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン」の中で地域として把握するよう求められているもの)
- ✓ 目標値を設定するものと、数値を把握するモニタリング項目(目標値は設定せずバランスを見る上で把握)としての棲み分け
- ✓ アナログな統計やアンケートだけでなく、デジタルを組み合わせた指標もありうる(センサーやビッグデータを活用した数値等)
- ✓ 総合計画や関連計画の指標との棲み分け(どこから観光計画における指標とするか)



※赤字は「DMO-新 KPI 体系(観光地域づくり法人(DMO)によるKGI・KPI 計測に係る手引書ver1.0)」で例示されているもの